

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立海津明誠高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和3年11月13日（土）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
会長 森 元則（海津市商工会副会長）
副会長 安立 正春（同窓会副幹事長）
委員 水谷 初代（更生保護女性会高須地区支部長）
伊藤 久（サンリバーはつらつ事務長）
宮脇 和義（JAにしみの海津区域統括グループ長）
渡辺 博邦（株式会社渡辺組 代表取締役）
杉野 照美（岐阜県公立幼稚園等新規採用教員研修指導員）
松林 正洋（PTA会長）

学 校 伊藤 嘉保 校長
滝 一男 教頭
曾根 章好 教頭

5 会議の概要

- (1) 100周年記念式典について
- (2) スクール・ポリシーについて
- (3) 校則の改定について
- (4) 生徒・保護者を対象とするアンケートの結果について
- (5) 委員からの主な意見・要望等

【100周年記念式典について】

意見1：コロナ対策下での開催であったが参加者全員が体調チェックされ、式典の内容もよく考えられていた。生徒が各役割を理解して果たしており、その活躍が随所に見られた。

意見2：厳粛な雰囲気で開催されていた。生徒の挨拶や誘導の姿が高校生らしく清々しかった。

意見3：生徒が各担当部署できびきびと動き、式典を盛り上げていた。

意見4：コロナ対策で密にならないように配慮があった。生徒の案内や挨拶が高校生らしく笑顔であったのが印象的だった。

【スクール・ポリシーについて】

意見1：地域の商工会として、地域活性化の事業を実施するにあたり若い人の考えや行動力を必要としている。

意見2：生徒自身が将来の目標を持つことが大切である。学校としては、専門学科の生徒は各種資格を、普通科の生徒は大学等への進学を目標としてそれぞれ将来に備えるとよい。進路指導部が4月に「進路だより」で実績を発表しているのはよいことである。専門学科の生徒の多くが就職する業種に関わる科目の授業を

増やすことも必要である。

意見3：一部の生徒だけではなく学校全体が達成を目指す教育目標であってほしい。

意見4：教職員全員で目指すことが必要である。

意見5：現在指導していることをさらに掘り下げて実行可能なまでに引き上げることは大変なことである。生徒の本音が聞けるとよい。

【校則の改定について】

意見1：時代の流れに合った規則を作ってもらいたい。

意見2：学校と生徒が話し合い、検討しながら進めているが、生徒の意見だからといって、常識的な範囲を超えるものを認めるべきではない。社会的な常識の範囲内で改定することはよい。

意見3：性別に関わることについて、改定したことは評価できる。

意見4：特に、制服の改定については賛成である。暑さ対策の観点から、一般社会におけるクールビズの考え方と同様である。

意見5：見直しには良い時期である。本校が、生徒の自分らしさが出せる高校であってほしい。

【生徒・保護者を対象とするアンケートの結果について】

意見1：アンケート結果から、本校に対する評価が非常に高いことに驚いた。引き続きアンケートを実施してほしい。

意見2：コロナ禍で長い間行ってきた形態では授業や行事が実施できなくなり、この2年で大きく変わった。それによる不安が反映された結果になったようである。コロナが収束すれば過去に実施してきたことを再開する必要がある。

意見3：アンケートの分析結果を生かして良い方向に進むことを願っている。

意見4：メールで依頼しWEBで回答する方法により、生徒・保護者全員を対象にするように変更したことは評価できる。

【その他】

意見1：心身ともに強い人物を育てるために、部活動の活性化を目指してほしい。

意見2：100周年記念関連行事での多くの配慮と準備に感謝する。今後の本校における先生と生徒の活躍を期待する。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、スクール・ポリシー、校則の改定について運用への期待を求められつつ全委員からの承認が得られた。

アンケート結果への対応を含め、今回得られた意見を参考に、今後の学校運営に生かしていきたい。